

開催日	ご意見	回 答
11月9日 花見東1区 北花見区	<p>起点側の円形交差点に不安を感じている。通学路であることや接道の状況を踏まえ、万が一の事故を防ぐための安全対策を講じてほしい。特に車両がスピードを超過して円形交差点に進入する恐れがあることを懸念している。</p>	<p>円形交差点では、車両の速度が抑制されるような構造とすることを検討しているところです。安全対策としては、車線分離標を設置し、車両の速度抑制を図りたいと考えております。</p> <p>併せて、警察とも連携しながら、円形交差点の安全性の確保に努めてまいります。</p>
	<p>地域の排水問題・冠水対策に関して不安を感じている。花見地区の生活者たちの安全を十分に考慮した対策を講じてほしい。</p> <p>また、対策内容についても具体的な説明を行いながら進めてほしい。</p>	<p>現在、古賀市では他業務において花見地区の排水計画の見直しを進めております。</p> <p>花見地区全体の排水問題や冠水対策について、現状よりも改善が図られるよう取り組んでまいります。</p>
	<p>道路がほぼ直線な線形である為、速度抑制の対策が不十分ではないかと不安に感じる。道路計画の設定速度が40km/hだが、速度抑制を目的として30 km/hに制限出来ないものか？</p>	<p>道路計画が2車線であるため、基本的に設定速度40km/hを変更することは困難であると考えております。</p> <p>そのため、速度抑制対策として、車線分離標の設置、道路線形に折れを設けることによる狭く見せる工夫、車両減速を促す看板の設置などを実施していきたいと考えております。</p>
	<p>二車線道路ではなく、スピードを出しにくい「コミュニティ道路」のような構造にするのも良いのではないかと？歩行者優先の道路とし、ジグザグな線形にして車両が通行しにくい構造にすることを検討してほしい。また、子供が飛び出しても止まれるような構造にして欲しい。</p>	<p>道路線形をコミュニティ道路のようなジグザグ形状とした場合、植樹の陰などからの飛び出しや見通しの低下により、かえって交通事故が増加するおそれがあると考えております。</p> <p>このため、本路線についてはコミュニティ道路型の線形は適さないものと判断しております。</p>
	<p>道路設計ではスロープの新設などが計画されていると思うが、段差をできるだけ少なくし、車椅子利用者や高齢者に優しい道路にしてほしい。</p>	<p>バリアフリーに十分配慮した構造となるよう検討を進めてまいります。</p>
	<p>花見小学校前の道路（開拓道線）が非常に危険であると感じている。西鉄宮地岳線跡地に新しい道路が整備されたとして、本当に開拓道線が安全になるのか？</p> <p>数値など根拠に基づいたシミュレーションを行っているのか？</p> <p>市の説明では、開拓道線の通行車両が減少し、安全になるという根拠が不十分に感じる。具体的な数値データやシミュレーションによる裏付けが示されておらず、説得力に欠ける内容となっている。</p>	<p>現地での交通量調査の結果を踏まえ、整備を予定している路線の交通量を推定しており、その意味では一定の数値的な根拠に基づき検討を行っております。</p> <p>一方で、最新の高度なシミュレーション技術を用いた詳細な分析までは実施できておらず、そのような手法による具体的な数値をお示しすることは困難な状況です。</p> <p>市といたしましては、道路ネットワークの改善により交通の流れが変化し、開拓道線の交通量が減少するものと考えておりますが、引き続き、開拓道線（花見小前）の車両通行量を減らすための対策について継続して検討・実施していきたいと考えております。</p>

開催日	ご意見	回 答
<p>11月9日</p> <p>花見東 1 区 北花見区</p>	<p>開拓道線は歩行者の安全確保のためにも「車両通行禁止」として、特定車両のみ通行を許可するなどの対策を講じる必要があると考えている。</p>	<p>過去、開拓道線を一方通行とすることについてご意見を頂戴し、警察と協議を行いました。一方通行や車両通行禁止などの交通規制を行うためには、沿線住民の皆様全員の同意が必要であるとの見解が示され、実現には至りませんでした。沿線住民の皆様全員の同意を得ることは難しい状況であり、現時点で車両通行禁止等の規制を導入することは困難であることについて、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
	<p>国道495号と花見佐谷線との交差点では、慢性的な渋滞が発生している。交差点部にガードレールを設置したことが、渋滞悪化の大きな原因になっているのではないかと？</p> <p>国道495号線を通り易くすることが花見地区全般の渋滞緩和に繋がると考えている。</p>	<p>令和5年度に市から県へガードレール設置の経緯について確認を行っております。その際、県からは、車両が歩行者を巻き込まないように、官民境界ぎりぎりの位置にガードレールを設置したものと考えている。との回答を得ております。</p> <p>一方で、いつ、どのような経緯で設置されたかといった詳細については、県としても把握できていないとのことでした。</p> <p>また、花見佐谷線の渋滞緩和については、市は道路拡幅に向けた用地買収を進めている段階です。ただし、事業は予算の範囲内で進める必要があることや地権者の意向も踏まえながら着実に進めていることなどの理由があるため、対応には一定の時間を要する見込みです。渋滞緩和に向けては順次進めていく方針です。</p>
	<p>本日の説明資料は、昨年の説明会から内容に変化が見られず、正直なところ満足できるものではなかった。今後の整備に伴い、騒音や排気ガスといった環境面での問題が発生することは容易に想定できる。このことから現状のまま事業を進めるのは不安材料が沢山あると感じている。道路を作る前に先に出来る工夫というのでも踏まえて進めて貰いたい。</p>	<p>騒音につきましては、主に道路の損傷等に起因する振動などが、騒音問題の原因となるものと認識しております。西鉄宮地岳線跡地の新設道路は「小型自動車等」を対象としているため、大きな振動や騒音が発生することは想定しておりません。</p> <p>排気ガスの問題につきましては、完全にゼロにすることは難しいものの、近年は車両自体の環境性能が向上していることに加え、排出量の多い大型車両（特にディーゼル車）が頻繁に通行する状況にはなりにくいと考えております。そのため、現段階では排気ガスによる影響がどの程度生じるかは明らかではありません。</p> <p>ただし、大型車両等が進入しないよう注意喚起を行うため、警告看板等の設置を含め、必要な対策を講じていく方針です。</p>
	<p>古賀市長は、対話集会で地元の合意があったところから着工して計画を進める旨の発言していたと認識している。</p> <p>しかし、いつの間にか着工している。いつ地元からの合意があったのか？</p>	<p>満場一致で計画を進めることが理想ですが、現実的に進めていくためには、一定の段階で判断し、計画を進めなければならないものと認識しております。</p>

開催日	ご意見	回 答
<p>11月9日</p> <p>花見東1区 北花見区</p>	<p>数年前にあった大分県での速度超過（時速180Km）の死亡事故などを踏まえると、物理的にスピードが出せない道路構造にすべきではないかと考えている。また、この地区は24時間営業のトライアルもあり、夜間に人が集まる地域性からも、そのような事件が起こらないとも限らない。速度を出した車両から身の安全を守るための有効な手立てがない。</p>	<p>大分県の速度超過の事故はかなり特殊な例であり、起こりうる可能性は否定しませんが、かなり低いのではないかと思います。特殊な例に対する対応は難しいと考えています。</p> <p>市としては事故が起きないように工夫や安全対策を図って行きたいと考えています。また、道路の整備基準に沿った形で速度抑制の対応を優先的として順次進めて行きます。</p>
	<p>説明の中で示されたスケジュールについては、道路整備を前提として進めているように感じられ、不信感を抱いている。</p> <p>「できるところから着実に取り組む」という市の姿勢が見られれば理解できるが、現状のままでは地元としては納得できず、この道路計画を認めることは難しい。</p> <p>また、信号機の設置についても、何らかの確約や明確な方針が示されなければ地元としては同意出来ない。</p>	<p>市では、地元から寄せられたご意見を踏まえつつ、事業の優先順位を設定し、順次取り組みを進めております。現在、最も優先度の高い課題は開拓道線に関するものであり、「できるところから着実に取り組む」という観点から、これまでの説明会でいただいたご意見をもとに、開拓道線交差点（※一灯点滅信号）を優先的に用地買収し、安全対策を進めている段階です。</p> <p>なお、信号機設置については、現時点では警察から設置の確約を得ることが難しい状況であることから、市としては引き続き警察に対して設置の打診を行っていく方針です。</p> <p>また、すでに供用を開始している花見南区の道路においては、地元から速度超過車両に関する報告が複数寄せられていることを踏まえ、警察に対して取り締まり強化を要請するなどの対応を行っております。市といたしましては、できるところから取り組める範囲で、着実に対応を進めていきたいと考えております。</p>
	<p>今回の地元説明会で出された意見を、市としてどのように整理・取りまとめ、地元に対してどのように報告・反映するのかを明確に示してほしい。</p>	<p>本件については、年内に回答を取りまとめる予定としており、12月初旬から中旬にかけて回答できるよう努めてまいります。</p> <p>また、回答内容につきましては、各区長へ情報共有を行い、地域への周知を図ってまいります。</p>

開催日	ご意見	回 答
11月15日 花見東2区	<p>花見佐谷線、新宮古賀線、汐入花見線（新宮古賀線の松林突当りから松林・天神7丁目住宅地・古賀西小学校小裏を抜けて大根川沿いの道路につながる道路）の各道路計画について、どのような道路になるのか、車線数（直進・左折・右折）、国道495号との交差点の信号はどういう制御になるのか（特に右折信号の有無、その時間）を具体的に提示してください。</p> <p>これらの道路がどうなるかで、西鉄跡地を道路化した場合の交通状況は大きく変化します。</p> <p>すなわち、これらが明確になれば市の計画を評価することは不可能です。</p> <p>市に協力したくても協力のしようがありません。</p>	<p>設計を行っていない路線もあることから、すべての内容を具体的に提示することは困難な状況です。</p> <p>都市計画道路の計画幅員につきましては、市ホームページ（こがマップ）に掲載しておりますのでご参照ください。</p> <p>花見佐谷線につきましては、直進レーンおよび右折レーンを設置する予定としております。信号制御につきましては、現在、警察と協議を行っているところです。</p>
	<p>花見佐谷線を整備することで、花見小学校前を通る車両を減らすとのことですが、その理屈を具体的に提示してください。</p>	<p>花見佐谷線および西鉄宮地岳線跡地を整備することにより、現状の幅員が狭い道路よりも通行しやすい道路へ車両が進入するものと考えております。</p> <p>また、花見小学校前の道路を通行した場合でも最終的には国道495号に合流することから、一定数の車両については、より走行しやすい整備済みの道路を選択して通行するものと考えております。</p>
	<p>西鉄跡地の道路には、車両を多くは流れないようにすることですが、その方法を具体的に提示してください。</p>	<p>計画交通量として、1日あたり2,800台程度が通行するものと見込んでおります。</p> <p>一方で、「車両を多くは流れないようにする」との点については、市のどの説明を指しておられるのかが分からないため、お答えできかねます。</p>
	<p>市の計画である西鉄跡地の道路は、いかにも車両が通りやすい道路になっています。さらに花見佐谷線がスムーズに流れる道路になった場合、福津から花見小学校前の道路（点滅信号まで）に流入してくる車両数は、今より格段に増えるのではないのでしょうか。花見東7丁目（点滅信号から福津側）の道路は、グリーン帯歩道に乗上げなければ離合できない狭い道路です。ここに幹線道路並みの車両が入ってくると、今でさえ危険な状況がさらに危険になります。この予測から、花見東7丁目の住民の安全性についての市の考えを提示してください。</p>	<p>ご指摘の路線につきましては、片側に歩道が整備されているほか、これまで道路の狭さくやハンプによる速度抑制対策を講じるなど、安全対策を進めてきたところです。</p> <p>今後は、花見佐谷線や西鉄宮地岳線跡地の整備が完了した後の交通状況を注視しながら、必要に応じて追加の対策を検討してまいりたいと考えております。</p> <p>併せて、主要な幹線道路に交通を集約することにより、周辺の生活道路の安全性を高めていきたいと考えております。</p>

西鉄宮地岳線跡地整備に係る説明会での主要なご意見（5/10）



開催日	ご意見	回 答
11月15日 花見東2区	<p>現在、朝の通勤・通学時間帯において、福津から花見小そばの点滅信号までの道路の渋滞状況が、495号線より激しいのは御存じでしょうか。福津からの車両は、本来の幹線道路である495号線に誘導する方策を取るべきではないでしょうか。</p>	<p>福津市側からの車両流入を完全に止めることはできないものと考えておりますが、花見佐谷線の整備により、幹線道路への交通誘導を図ることができるものと考えております。</p>
	<p>西鉄跡地が道路となった場合、通学児童の安全を確保するためには、横断歩道に旗振りボランティアの見守りは欠かせません。今よりも旗振り箇所が増え、保護者の負担が増加することになります。市の計画で安全な道路となるはずが、新たな危険対策が必要になります。保護者の負担が増えること。新たな危険箇所が増えること。について市の考えを提示してください。</p>	<p>市といたしましては、歩車分離が図られた道路および横断歩道において児童生徒を通学させることは、より安全性を高めることと考えております。なお、横断歩道は道路交通法により歩行者が横断する際には一時停止義務が課されていることから、横断歩道を利用して横断していただくことが安全につながるものと考えております。</p> <p>また、見守りボランティアの方の負担が大きく増えるとは想定しておりませんが、整備後は市の登下校時の青パトによるパトロールを重点的に実施したいと考えております。</p> <p>危険箇所が増えることのご指摘についてはご意見として承らせていただきます。</p>
	<p>近辺の交通量調査を行っているとのことですが、朝の通勤・通学時間が最も危険な時間帯になります。 7:40~8:20頃(それに近い時間帯)の交通量を提示してください。</p>	<p>個別の時間帯における交通量の提示は行っておりません。</p>
	<p>去る10月29日、法律を守って車道左端を自転車で走行していた中学生が車両との事故で死亡しました。 西鉄跡地の道路でも自転車の事故は大いに発生し得るのではないのでしょうか。自転車事故発生の可能性について、市の考えを提示してください。</p>	<p>道路交通法に関する見解につきましては、市としてお答えする立場にはございません。</p>
	<p>自転車通行について、2026年度から、自動車が自転車の右側を追い越す際に1.5メートル以上の物理的な間隔を確保することが法的に義務付けられるとのことです。「跡地道路」はこの法的義務を順守できる構造になっているのでしょうか。 交差点手前部分で中央部にポールを立てるとのことですが、この方策は逆に危険性を増すことになりませんか。</p>	<p>警察と協議を行い、構造を決定しております。 自転車につきましては、原則として車道を通行していただくことを前提としております。</p>

開催日	ご意見	回 答
<p>11月15日 花見東2区</p>	<p>花見南の道路を参考にとすると、自転車で車道左端を走行しているとやはり車両の恐怖を感じる時が有ります。歩道に逃げて押して通行しようと思っても、延々とガードレールが設置されており、なかなか歩道に入れません。幼子やたくさんの買い物載せて通行する方も同じ思いだと想像します。歩行者を守るガードレールが、準歩行者と言っていい自転車ユーザにとって危険な存在である矛盾点について、市の考えを提示してください。</p>	<p>道路交通法に従った走行をお願いいたします。</p>
	<p>地震、津波等の災害時の避難の際は、「跡地道路」を通る車両も歩行者も緊急事態の心理状態です。 スピードを出せる道路があれば注意力散漫な状態でもアクセルを踏み込んでしまうでしょう。歩行者にとってはガードレールに邪魔され、暴走する車両に邪魔され、最も弱者としての存在になります。小さな子供を抱えた方、足腰が弱っている方などはさらに最弱者となってしまう可能性が有ります。弱者・最弱者となる歩行者に対する市の考えを提示してください。</p>	<p>歩道および車道を整備することにより、現状と比べて避難が可能となる場面が増えるものと認識しております。</p>
	<p>この夏、大雨で花見東、花見南の一部で一帯が冠水しました。それほどの大雨でなくとも、花見東2丁目の水路付近は頻繁に冠水が発生しています。 西鉄跡地の道路計画では、冠水対策はできているのでしょうか。現在、跡地に降る雨はほとんどが地面に吸収されていると推測します。それがアスファルトなどに覆われて、雨水を全て排水処理しなければならないのではないのでしょうか。 市の雨水処理計画を具体的に提示してください。降雨・排水の計算式の提示も希望します。 納得がいく提示がない限り、着工は断じて許容できません。車両交通とは別の、住民の命に係わる問題です。</p>	<p>近年の豪雨は想定をはるかに超える規模となっており、瞬間的な大雨に対しては対応が困難です。 現在、古賀市としては、花見地区の冠水対策として貯水施設の設置を計画しているところです。 なお、現在は計画段階であることから、個別具体的な数値等につきましては、回答を差し控えさせていただきます。</p>

開催日	ご意見	回 答
11月15日 花見東2区	<p>この夏の大雨で花見南区が冠水したのは、西鉄跡地の道路化による可能性はありませんか。 花見南区の冠水対策は計画されていますか。</p>	<p>近年の豪雨は、想定をはるかに超える規模となっており、瞬間的な大雨に対しては対応が困難です。 現在、古賀市としては、冠水対策について検討を進めているところです。</p>
	<p>松籟苑1組の北端で、西鉄跡地の道路と松籟苑をつなぐ道路を造る計画とのこと。前回の説明会で反対の声が上がったと記憶していますが、このご意見は反故になったのでしょうか。いずれにしても、松籟苑各組、ジョイスガーデン各組には生活に直接影響が出ます。かつ、住民の価値観も様々です。少なくとも松籟苑、ジョイスガーデン、できれば市営各組まで、全戸住居者の賛否を取るべきではないでしょうか。集会に不参加の人はこの計画を知りません。不参加者の中には、来たくても来れない方もいらっしゃる。跡地に興味がない方も、直結するとなれば話は別という方もいらっしゃるはず。対話集会で、市長は「住民に深く入り込んで意見を募る」と明言しています。（他の区でもそうしてきた、とも明言しています）。西側だけでなく、東側でも直結する道路が計画されています。そのメリット、デメリットを明確にして直接影響を受ける住民の意見を収集して頂きたい。</p>	<p>ご意見として承らせていただきます。 説明会の場において、改めてご意見をいただきたいと考えております。</p>
	<p>円形交差点について、通常の交差点に比べてメリットは何でしょうか。</p>	<p>交通事故の抑制効果が期待できる点が挙げられます。</p>
	<p>円形交差点について、個人の印象です。 名古屋駅の東側に円形交差点がありますが、何度通っても慣れることができません。通常の交差点における注意ポイント、確認順序とは異なる視点・フローが必要で、注意力が散漫になります。最初に通った時は事故を起こしそうになり、パニック状態になりました。車両同士の事故を起こさないようにするのが精いっぱい、歩行者への配慮まで行えるか大いに不安があります。</p>	<p>個人差がある内容であると認識しております。 ご意見として承らせていただきます。</p>

西鉄宮地岳線跡地整備に係る説明会での主要なご意見（8/10）



開催日	ご意見	回 答
11月15日 花見東2区	円形交差点について、昨今いわゆるドリフト走行がある種のブームになっています。円形交差点はドリフト走行の腕試しにはもってこいの形状です。走り屋に目を付けられることはないでしょうか。	実際にそのような事象が発生するかどうかを予測することは困難であると考えております。 個人のご意見として承らせていただきます。
	今後も古賀市まちづくり基本条例に則り、市民との対話を進め「信頼関係の構築」を実現してください。	ご意見ありがとうございます。
	自宅のポストにコミュニティ道路を勧めるチラシが入っていたが、私は西鉄跡地にはコミュニティ道路ではなく一般道を整備した方が良いと考えている。道路にした際の信号機設置は検討されているのだろうか？	市としての意向は、信号機を設置したいと考えておりますが、現在、警察との協議を進めている段階であり、現時点で信号機設置の確約を得ることは難しい状況です。ただし、今後も引き続き、警察との協議を継続してまいります。
	中川地区などは道路整備が完了し、一部に残地が生じているが、今回も同様に残地が発生するのだろうか？ もし発生する場合は、その活用計画についても教えて欲しい。	この区間におきましては、中川区や花見南区のような道路残地が発生する予定はありません。 一部において多少の残地が発生する箇所は想定しておりますが、その場合にはポケットパーク等の整備を行うことを予定しております。
	西鉄跡地の道路が完成した際は、緊急車両や消防車が問題なく通行出来るようになっているのか？	緊急車両や消防車も通行可能であり、整備後は現在よりも通行がスムーズになるものと予測しております。
	消防車が進入出来るという事は、消防用の消火栓なども整備していく予定なのだろうか？	消火栓の設置は現時点で予定しておりませんが、地元からの要望も踏まえ、市の関係部署と協議します。
	花見交差点（ウエスト付近）については、10年前から改善の地元要望を出しているものの、一向に改善が見られない。 市からは「検討中」との回答はあるが、実質として何もされていない状況と変わらない。特に朝方の交通状況は非常に悪く、新宮古賀線から花見交差点に進む車両は1～2台ずつしか流れない状態が続いており、早急に改善に取り組んで欲しい。	地元からのご意見として受け止め、改善に向けてしっかりと対応していきたいと思います。

西鉄宮地岳線跡地整備に係る説明会での主要なご意見（9/10）



開催日	ご意見	回 答
11月15日 花見東2区	<p>花見地区については、主要道路である国道495号と連携できる道路計画になっているのか疑問に感じている。</p> <p>西鉄跡地の道路整備を進める前に、花見佐谷線や新宮古賀線などを含めた主要道路の国道495号への接続計画や渋滞緩和の対策を検討すべきではないか？</p> <p>まずは花見佐谷線と新宮古賀線の道路整備を優先すべきだと思っている。</p>	<p>市は花見小学校周辺的生活道路における安全確保を最優先課題と位置付けております。</p> <p>そのため、花見佐谷線および西鉄宮地岳線跡地の整備を優先的に進めております。</p> <p>一方で、新宮古賀線の整備は都市計画道路事業であり、事業費が莫大となることから、他の道路事業と並行して進めることは困難な状況です。</p> <p>このため、花見佐谷線の整備が完了した後に、新宮古賀線の整備に着手できればと考えております。</p>
	<p>西鉄跡地の道路事業を市は進めているが、近接する新宮町と福津市の西鉄跡地とは道路を接続する形となるのだろうか？</p>	<p>現時点では、新宮町や福津市における西鉄跡地については、道路計画は予定されていないと伺っております。</p>
	<p>花見佐谷線の用地買収が進み、開拓道交差点（点滅信号）周辺の倉庫などは解体されて、駐車場が空き地のようにになっている。この花見佐谷線の買収ラインはどのような形となって、道路が拡幅される計画なのだろうか？</p>	<p>花見佐谷線の道路拡幅においては、現在の駐車場用地のおおよそ半分が残る形となります。</p> <p>開拓道交差点（一灯点滅信号）周辺につきましては、おおむねその程度の位置まで道路が拡幅されるものと認識していただければと存じます。</p>
	<p>この道路整備の計画に反対する所帯が沢山あっても、市は計画を執行できるものなのか？</p>	<p>道路整備事業においては、地元の皆様全員の同意を得て事業を進めることは困難であると考えております。</p> <p>市といたしましては、地元の皆様のご意向にできるだけ寄り添えるよう努めつつ、道路整備事業を進めていきたいと考えております。</p>
	<p>西鉄跡地の道路計画において、横断歩道や信号機の設置方針や安全対策などを聞かせて欲しい。市はどのように考えておられるのかも確認したい。</p>	<p>横断歩道につきましては、始点・終点の交差点に加え、区間内に2箇所設置したいと考えております。</p> <p>なお、警察による信号機の設置についてはハードルが高く、現時点で確約を得ることは難しい状況です。</p> <p>このため、道路整備を進める中で警察との協議を重ね、信号機の設置が可能となるよう、引き続き対応してまいります。</p>
	<p>以前の集会で、市は西鉄跡地の道路整備が完了した際にはバスを通行させる計画があると説明されていたが、現在もその予定はあるのだろうか？</p>	<p>現在、バスを運行させる計画はございません。</p> <p>地元の皆様からご要望がある場合には、今後の検討の中で参考とさせていただきます。</p>

開催日	ご意見	回 答
11月15日 花見東2区	<p>西鉄宮地岳線沿いの住宅については、目隠しフェンスの設置は市が費用負担してくれるという認識でいいのか？</p>	<p>公共事業であることから、目隠しフェンスにつきましては、必要最低限の範囲で市が設置したいと考えております。</p> <p>設置を予定している目隠しフェンスは、既存住宅への視線を遮ることを目的としたものであり、ブロック塀等の設置は現時点では考えておりません。</p> <p>なお、設置の詳細につきましては、今後の道路計画の進捗にあわせて、個別に協議を行いながら調整していきたいと考えております。</p>
	<p>花見22号線沿いの家に住んでいるの者だが、道路沿いに風呂場があるので、道路が完成した際には、花見22号線沿いの住宅にも目隠しフェンスを設置して貰えるのだろうか？</p> <p>花見22号線がどのように接続されるのか、現在の計画状況について教えて欲しい。</p>	<p>花見22号線につきましては、現況幅員のまま道路に接続する計画としております。基本的に取付道路に面する住宅については、目隠しフェンスの設置等は予定しておりません。</p> <p>ただし、道路との接続状況によっては、個別の対応が必要となる場合も考えられることから、今後の整備の進捗にあわせて個別にご相談させていただきつつ、対応を検討していきたいと考えております。</p>
	<p>近年の異常気象による冠水が著しいと思っている。</p> <p>令和7年8月には冠水が発生した。住宅の基礎部分5cmまで浸水するなどの状況である。市の雨水・冠水対策を聞かせて欲しい。</p>	<p>冠水対策につきましては、市の上下水道課において排水計画の見直しを進めております。</p> <p>今年度、花見地区においては、約5,000トンの水を一時的に貯留できる貯水施設の計画を検討しているところです。</p> <p>この貯水施設は、いわゆる「ピークカット」の考え方に基づくものであり、一度に流れ込む水の量を抑えることで、下流域の被害を軽減することを目的としております。</p>
	<p>花見地区の雨水幹線沿いに長年住んでいるが、今年8月には自宅が冠水する被害を受けた。主人は90歳を超えていることもあり、大雨の際にはホテルへ避難する状況が続いている。</p> <p>そのため、今後の生活の安全を考え、引っ越しも検討している。市には水害の恐ろしさを十分に認識していただきたい。</p> <p>実際に冠水によって車が廃車になるなどの被害も出ており、しっかりとした冠水対策を講じていただきたいと願っている。</p> <p>可能であれば、水路をもう1本増設するなどの対応も検討していただけないか？</p>	<p>水路を新たに設けるのではなく、地域内に水が流れ込まないように設計する方針です。</p> <p>現在、水路には雨水センサーが設置されており、水位が上昇して越水する際には、市へ通知が届く仕組みになっています。これにより、市民の方も水路の冠水状況を市のホームページで確認できるようになっております。</p> <p>雨天時に水路の状況が気になる場合には、ぜひご活用ください。</p>